

藤沢市教育委員会定例会（12月）会議録

日 時 2004年12月10日（金）午後2時

場 所 藤沢市役所東館 教育委員会会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の決定

3 前回会議録の確認

4 議 事

- (1) 議案第32号 藤沢市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について
- (2) 議案第33号 藤沢市奨学生選考委員会委員の委嘱又は任命について
- (3) 議案第34号 藤沢市学校事故措置委員会委員の委嘱又は任命について
- (4) 議案第35号 教育財産の取得の申出について（高砂小学校体育倉庫等附属建物及びグラウンド外構）
- (5) 議案第36号 教育財産の取得の申出について（石川小学校校舎及びグラウンド外構）
- (6) 議案第37号 教育財産の取得の申出について（白浜養護学校体育倉庫等附属建物及びグラウンド外構）
- (7) 議案第38号 教育財産の取得の申出について（藤沢公民館の土地及び建物）

5 その他

- (1) 2005年成人式について

6 閉 会

出席委員

1番 中村 喬
2番 數野 隆人
3番 開沼 佳子
4番 平岡 法子
5番 川島 一明

出席事務局職員

教育総務部長	小野 晴 弘	生涯学習部長	西山 三 男
生涯学習部担当部長	関根 克 尚	教育総務部参事	浅木 良 一
教育総務部参事	尾嶋 良 二	生涯学習部参事	齋藤 潔
生涯学習部参事	植木 正 敏	生涯学習部参事	渡辺 恭 博
生涯学習部参事	武 清	生涯学習部参事	田中 正 男
生涯学習部参事	酒井 一 二	学務課長	飯島 広 美
学校教育課長	新井 泰 春	保健給食課長	廣野 賢 二
書記	大橋 久 高	書記	井出 秀 治

制ですが、2学期制に移行しつつあるように伺っております。

川島委員 2学期制移行の大きな目的は何ですか。

新井学校教育課長 学習指導要領に準拠した絶対評価が平成14年度から導入されました。今までは総対評価が主流だったわけですが、それはどちらかという1学期にやった結果が成績表として出てくるという結果評価だったわけです。ところが絶対評価ということはさまざまな観点に従って、その子の学習状況が総体してどうかを評価していくということで、綿密な評価が求められているということです。そうするとその綿密な評価をするために当然、授業時間も多くなければならぬし、綿密に子ども一人ひとりの学習状況を把握していくということが求められている。そういう指導と評価ということが一体化するという状況の中で、最大のメリットはそこにあるのではないかと。つまり指導と評価が表裏一体的に前進するといえますか、子どもにとっていい結果が出るととらえております。それが一番大きな理由ではないかと考えております。

川島委員 そうすると大局的に2学期制の教育の目的は、市のビジョンと同じようにゆとりとか生きるとか個性の教育も含まれての綿密な評価がそこに反映しているといつてよろしいのですか。

新井学校教育課長 個性を生かす教育、一人ひとりを大事にしていく教育が今求められています。その子のできた、できないという結果を評価するのではなく、その子が歩んでいるプロセスをじっくり見て、それをその子に評価という形で還元するということでは一人ひとりに応じた綿密な評価ができてくる。それをまた励みにその子も頑張っていけるのではないかと考えております。

中村委員 指導と評価が今以上に一体化するというのを元にして、生徒一人ひとりに対する学習面での支援とか指導の時間が充実をしてくるとか、基礎学力がつくとか、体験的な学習が長いスパーンの中で組みやすくなるといったメリットが生まれます。制度を変えることによって教える側も教えられる側もそれぞれが考え方、意識を変えていかないと、制度は変えたけれども、質が伴わないというようなことが出てきようかと思うのです。まずは指導する側が学校を2学期制にするのだというところで意識を切り替えていく。学ぶ側の子どもたちもそれに合わせて学び方なり学ぶ姿勢を変えていく必要がある。その辺はこれから展開していく中でそれぞれが努力をしていくべきではないかと考えます。

平岡委員 確かに教える側も学ぶ側も姿勢を変えていかなければならないということですが、全体を見て教える側の先生方が2学期制であるべきだと思っていられるのか。それから受ける側の生徒、保護者も大部分が2学期制であるべきだと考えているのかどうかということがアンケートの結果か

らははっきりと伝わってこないが、その辺はいかがですか。

新井学校教育課長 3学期制については教員のみならず生徒、保護者にも定着しているし、日本の四季に合せた学期というのが今の3学期制だと思います。2学期制にするメリットは、評価が変わってきた流れになってきている中で、そういう指導が教職員に求められていると思います。それから一番2学期制を欲しているのは授業時間の少ない先生方がいかに指導と一体化した評価ができるかということであります。2学期制という枠組みを変えることによって、2学期制を生かしていく。その枠を生かした指導観を培っていくことが今、必要ではないかと思います。それから生徒につきましては、生徒がよりよく伸びるための2学期制であると考えております。結果だけで終わっていたそれぞれの学期を何が課題かということを一一人ひとりの子どもたちが持つていく。そしてその休みを生かしていくことが今の1つの課題であろうと思います。それが1年、2年たつことによって定着していくだろうし、その成果は目に見えてくるだろうと考えております。

平岡委員 いい結果を受けるように鋭意、検討を重ねるとともに、保護者にも理解していただいて盛り上げようという機運になるような方向に持って行っていただきたいと思います。

開沼委員 保護者も心配されていると思いますので、授業時間数の確保、教育相談やフォロー学習にもっとゆとりが出る、指導が行き届くというような部分を具体的にイメージできるような資料をできるだけ早い段階に保護者、市民に説明していただきたいと思います。

新井学校教育課長 保護者、生徒が2学期制導入に対応していけるように考えていきたいと思ひます。市民に対しては1月号の広報ふじさわで周知していきたい。また、各中学校では2月初旬から中旬にかけての新入生の保護者への説明会に向けて資料提供をして周知していきたいと考えております。また2月の在校生の保護者会にも周知をしていきたいと考えております。何よりも子どもたちが2学期制を迎える姿勢をつくっていききたいと考えております。

川島委員 大きく制度が変わったときには先生自身も授業の内容に変化があると思ひますので、夏休みの前の行動とか成果とか細かいカリキュラムを各先生がつくられていると思うけれども、時期が時期ですので、先生の自覚をしっかり教育していただきたい。

新井学校教育課長 大きな枠組みの変化ということでは学習指導要領がありました。平成10年からは絶対評価とか総合的な学習の時間も入ってきて、それ以前の学校とかなり様相が変わってきたということは言えます。総合的な学習の時間は一人ひとりの教員との協同、地域の人たちとの協同というところにエネルギーを使っているだろうし、各教科の授業の中でも指導観を変えざるを得なかつ

高砂小学校については国庫対象となる部分については、立替施行した翌年に買戻しをしております。それ以外の附属建物あるいはグラウンド外構を10年割賦で買戻ししているということです。

数野委員長

ほかにありませんか。

ありませんので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

数野委員長

それでは、議案第37号教育財産の取得の申出について(白浜養護学校体育倉庫等附属建物及びグラウンド外構)は、原案どおり決定いたします。

×××

数野委員長

次に、議案第38号教育財産の取得の申出について(藤沢公民館の土地及び建物)を上程いたします。事務局の説明を求めます。

斎藤生涯学習部参事

議案第38号教育財産の取得の申出についてご説明いたします。12月市議会定例会におきまして、藤沢市福祉会館条例の廃止をする条例が可決成立いたしました。藤沢公民館は、福祉会館の財産という位置づけになっておりますことから、教育財産の取得の申出をするものです。(以下別紙参照)

数野委員長

事務局の説明が終わりました。議案第38号につきましてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

平岡委員

福祉会館は太陽の家ができた昭和50年ごろから機能していなかったと思うのですが、今になって変更になった理由は何ですか。

斎藤生涯学習部参事

公共料金見直しにより公民館の有料化あるいは指定管理者制度の導入に伴いまして、公共施設のあり方の見直し等を全庁的に行っております。その中で福祉会館のあり方について検討を進めてきましたところ、福祉会館の内容、用途、目的が太陽の家や藤沢市生きがい福祉センターの開設を踏まえて福祉活動の発展、老人クラブ等の活動、身体障害者及び肢体不自由児等療育指導、その他福祉団体の活動、青少年レクリエーションの育成の場というものが薄れた、あるいは公民館の機能の一部になっているということで福祉会館を廃止したものです。

数野委員長

ほかにありませんか。

ありませんので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

数野委員長

それでは、議案第38号教育財産の取得の申出について(藤沢公民館の土地及び建物)は、原案どおり決定いたします。

÷÷

数野委員長

その他に移ります。

(1) 2005年成人式について、事務局の説明を求めます。

植木生涯学習部参事

2005年の成人式は1月10日成人の日例年どおり、藤沢市民会館に

おきまして実施いたします。対象者は1984年4月日から1985年4月1日までに出生した藤沢市内に在住している者で、4,396人です。また藤沢市外に在住している者でも条件を満たしており、希望があれば受け付けております。

開催時間は1時30分の開場、2時開式、3時閉式。内容としては式典及び記念事業です。実行委員会企画提案により市内の小中学校の風景写真の展示を予定しております。参加記念品は藤沢市オリジナル扇子で、3年目ということで図柄を変えております。(以下別紙参照)

数野委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対してご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

川島委員 成人式への参加者は過去10年間の推移はどうなっていますか。

植木生涯学習部参事 対象者は平成10年が5,706名、平成15年が4,673名、平成16年が4,688名です。平成17年は市外に出た方で連絡があった方を含め今現在で4,418名です。やはりマイナスの傾向になっておりますが、これは企業の撤退等もあるかと思えます。

川島委員 高校受験生が少ないとか企業の撤退とかいろいろありますが、藤沢市は成人に対して将来をどうみているのかお聞かせいただければと思います。

植木生涯学習部参事 この5年間の住民票によりますと、しばらく減の傾向が続きまして、年によって200人から300人、多い年では400人という減が想定されます。ただ途中で増に転じている年もありますけれども、51人ほどで約1,000人の減、3,500名ぐらいの数字になってしまうのではないかと思います。成人式は市内に住んでいる方の成人を祝うということで実施しますので、成人をふやすということは人口の問題、経済活動の問題、社会問題を含めて若い人に限らず人をふやす施策を確立しないと成人だけ多くという手法は見当たらないのではないかと考えます。

平岡委員 式典の映像を小ホールと第一展示ホールへ中継するとあるが、ここへの参加者はどのくらいですか。

植木生涯学習部参事 映像の中継は平成13年度に式典を1回にしたときから実施しております。大ホールに入れない方が見るという形をとっておりますが、腰を据えてみるということでなく仲間のいる外へ行くとかといった動きの中で映像を見るということなので実際の数の把握はできておりません。

平岡委員 中継を1カ所にするというのはどうですか。

植木生涯学習部参事 中継会場のスペースとか天候等を考慮しておりますが、雨とか雪のときの屋内での交流の場も考えて、参加人数を収容できる場所の確保しております。

数野委員長 参加者数というのは、連絡があった人なのか、実際に成人式に出た人の集

この会議の結果を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員